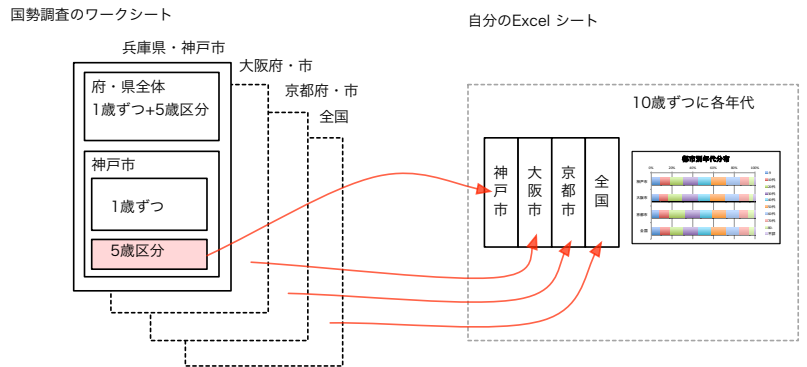


## 複数データの比較による分析

「Excel / Word を使ったレポート作成」で、ネットから得られる統計データを簡単に分析する作業を行った。今回はそのような分析の例として、京都市の年齢別人口分布の特徴について調べ、報告書として仕上げる過程を示す。

1. 元となるデータとして国勢調査のデータを得る。元データは政府統計の総合窓口 e-stat にある。<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/> 参照。あるいは Report Folder にも複製あり。）

2. 10 歳区切りの人口データについて、京都市と、比較対象となる全国、大阪市、神戸市についてそれぞれ取り出し、一つのワークシート上に並べる。(右図)

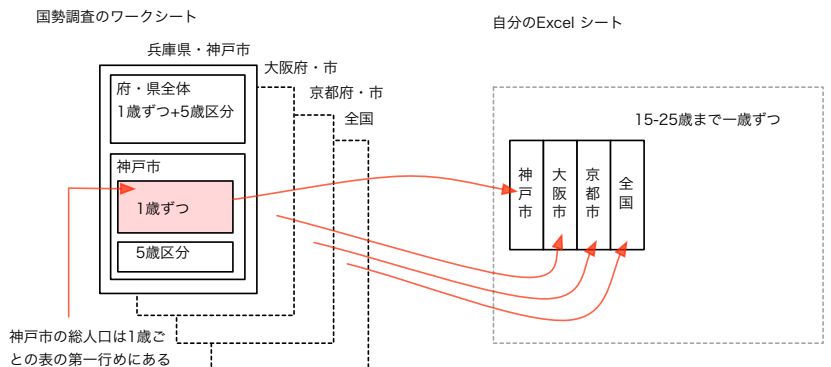


3. 100%積み上げ横棒タイプのグラフを描く。



(ここで京都市の人口分布について 20 代が多いことに気がついたので詳細を見るために)

4. 次は1歳区切りの人口データについて 15 歳から 28 歳までを各都市及び全国について取り出し、一つのワークシート上に並べる。(右図)



5. そこから二つ目のグラフを作ることにする。まず 4. で作成した年齢ごとの実人数の表から、各都市の総人口に対する比 (%) の表を作成する。(フィルハンドル、絶対参照の利用などを心がける)

	神戸市	大阪市	京都市	全国
15	14,415	20,540	12,017	1,234,174
16	14,617	21,164	12,437	1,273,076
17	15,100	22,005	12,714	1,313,462
18	17,202	25,956	18,107	1,357,096
19	19,316	30,258	24,550	1,390,572
20	19,661	30,739	26,141	1,442,590
21	20,170	31,617	27,144	1,471,327
22	19,812	33,149	25,734	1,481,329
23	18,461	34,105	22,311	1,469,413
24	17,942	34,483	20,895	1,485,939
25	18,404	36,601	20,697	1,546,900
26	18,710	37,171	20,245	1,588,551
27	19,626	38,714	20,976	1,655,017
28	20,041	39,169	21,055	1,701,624
総合計	1525393	2628811	1,474,811	1,28E+08

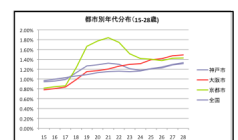
まず元のデータを一つの表に並べる。総合計も必要。

6. 作成した比 (%) の表を用いて折れ線グラフを作成する。

	神戸市	大阪市	京都市	全国
15	0.95%	0.78%	0.81%	0.97%
16	0.96%	0.81%	0.84%	1.00%
17	0.99%	0.84%	0.86%	1.03%
18	1.13%	0.99%	1.23%	1.06%
19	1.27%	1.15%	1.66%	1.09%
20	1.29%	1.17%	1.77%	1.13%
21	1.32%	1.20%	1.84%	1.15%
22	1.30%	1.26%	1.74%	1.16%
23	1.21%	1.30%	1.51%	1.15%
24	1.18%	1.31%	1.42%	1.16%
25	1.21%	1.39%	1.40%	1.21%
26	1.23%	1.41%	1.37%	1.24%
27	1.29%	1.47%	1.42%	1.30%
28	0.013138	0.0149	0.014276	0.013318

次に実数のデータから、各年齢ごとに総合計の何%に当たるかを別表に計算

この表を折れ線グラフに描画



7. Word に貼り付けて説明記述、データの出典情報などを揃えてレポートとする。

平成 23 年 6 月

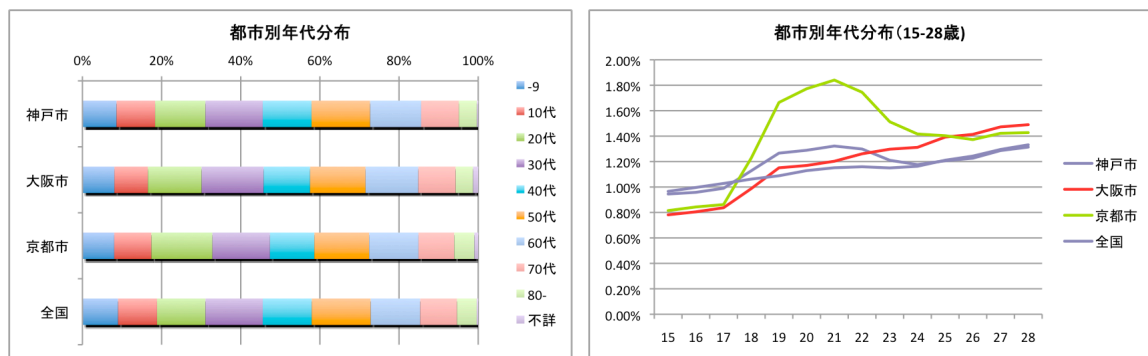
コンピュータ基礎実習  
調査部御担当様

法学部 473088

榎田裕一郎

## 京都市の人口分布について（報告）

京都市の人口分布を全国平均および大阪市、神戸市と比較したところ、以下のよ  
うな結果が得られましたので報告します。



資料(1) e-stat <http://www.e-stat.go.jp/> 平成 17 年国勢調査、第 1 次基本集計 都道府県結果

左図は神戸市、大阪市、京都市および全国平均の各年代別（10 歳区切り）人口分  
布を示したのですが、京都市の 20 代の割合が他都市、また全国平均に較べて大  
きいことがわかります。（資料(1) による）

次にその詳細を見るため、高校・大学・大学院生が含まれると思われる 15 歳か  
ら 28 歳までの一歳区切りの人口の割合を右図に示します。その結果、京都市は大  
学生・大学院生を含むと考えられる 18 歳から 23 歳程度までが突出して多く、その  
前後の年齢層では一般的な数値に近いことが確認されました。

別の資料(2) では大学生・大学院生の数が人口比で京都市 8.9%、大阪市 1.0%、  
神戸市 4.5%であることが示されており、上記の結果を裏付けています。

資料(2) e-stat 学校基本調査 表 8. 都道府県別学部学生数・表 9. 都道府県別大学  
院学生数

以上